

指導計画(部分・責任)

実習指導者

サインまたは印

実習生氏名

サインまたは印

20xx 年 ○ 月 ○ 日 (△)		場 所	ホール・遊戯室
主な活動 (題材)	リズムあそび (未就園児親子)		実習 クラス (未就園児親子) 歳児 (15) 組 男児 () 名 女児 () 名 計 (30) 名
幼児の姿 (前日までの 幼児の姿)	未就園児と保護者での取り組み。親子でスキンシップを図りながら、様々な動きを楽しんでもらう。保護者同士のコミュニケーションのきっかけになることも期待する。体を動かすことでリフレッシュすること、我が子の成長を感じることを、子育ての気づきを見つけられることを願う。		保育活動 のねらい ・リズムに合わせて動く楽しさを知る、体験する。 ・リズムに合わせて様々な動きをしようとする。 ・保護者のリフレッシュ、子育ての気づきや安心感につながる活動を展開する。 ・自分から体を動かすことを楽しむきっかけにする。
時間	環境構成	予想される幼児の活動	保育者の援助・配慮
10:00 (導入)	【ホール・遊戯室】 ・危険な物がない空間で行う。	・保育者のまわりに親子で集まる。 ・好きな色のポンポンを2つ選んでもらう。 ・ポンポンを振ってみる。	・動きやすい服装で行う。 ・転倒しないように素足で行う。 ・保育者のまわりに親子で集まるように伝える。 ・導入で、心と体を温める。
10:15 (展開)	【準備物】 ・音源 (スマートフォン・スピーカー) ・タンバリン ・ポンポン	・上・下・横・手拍子・回すなどポンポンを振ってみて動きを楽しむ。 ・リズムに合わせて動くことを楽しむ。 ・保育者のまねっこをして動くことを楽しむ。 ・親子で手を合わせる振り付けなどで、スキンシップを含む動きを楽しむ。 ・手を合わせる、つなぐなどの動きから、相手を感じることを知る。 ・輪になってお互いの表情が見える状態から、一体感を感じる。 ・歩く、弾む、跳ぶ、振る、回るなど様々な動きを楽しむ。 ・ポンポンを持って踊ることでワクワクする気持ちを抱き、動きを楽しむ。	・しっかり動いているかを見守り、言葉をかける。 ・無理はしないように言葉をかける。 ・わかりやすいように大きく、ゆっくりと動いて手本を見せる。 ・言葉をかけながら楽しそうに進める。 ・未就園児にも無理がない簡単な振り付けのダンスにする。 ・保育者のまねっこを楽しめるように進める。 ・笑顔であることを心がける。 ・手だけから足踏みなど、動きを徐々に増やしていく。 ・簡単な動きを繰り返し行う。 ・同じメロディーの部分は同じ動きにする。 ・対面のダンスから歩いて回りながらなど展開する。
10:25 (まとめ) 10:30		・皆に向かって動く楽しさを知る。	
自己振り返り・評価等	総合活動としての未就園児と保護者のリズムあそびは、触れ合いの中で親子のスキンシップを図ることが楽しさのひとつである。リズムに合わせて体を動かすことを、親子で共に楽しんでもらえたらよい。子育て中の保護者にとって、リフレッシュになったと思われる。リズムに合わせて様々な動きをしようとするのもねらいで、上手、下手ではなく、楽しむことが重要である。全身の大きな筋肉を使い、簡単な振り付けでリズムに合わせて動くことを楽しんでもらい、健康のねらいである「自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする」ことにつながるのではないかと考えられた。		